ふくしまＮＰＯネットワークセンター通信
# のっぽの

◆◆◆◆◆ 注 目 記 事 ◆◆◆◆◆

動き出したのっぽ・アカデミー
市民活動フェスティバル開催
事務局8階へ～明るく・広く

## のっぽ・アカデミー始動！

ふくしまNPOネットワークセンター常務理事　牧田　実

ふくしまNPOネットワークセンター主催のNPO研究会が生まれ変わりました。その名も「のっぽ・アカデミー」。NPO研究会は 10 年余、57 回の歴史を刻んできましたが、今回のリニューアルは、このよき伝統を継承しつつも、より開かれた、より親しまれる研究・交流の場とすることを狙いとしています。のっぽ・アカデミーでは、①NPOに関するちょっとディープな学びの場を提供すること、②日頃の活動のヒントと元気の素をとどけること、③共感と仲間づくりの輪を広げることをめざしたいと思います。また「協働の風景」「NPO制度改革のツボ」「議員と語る」など、今後いくつかのシリーズ展開も考えています。たんなる看板の掛け替えに終わらぬよう、いっそうの内容の充実に努めますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、第 1 回のっぽ・アカデミーは、さる 10 月 2 日、参議院議員である金子恵美氏をお招きし、「新しい公共を掲げる民主党のNPO政策」と題して開催されました。金子さんは、自らの介護やNPO活動の経験とアメリカでのソーシャルワーカーの経験から、ノーマライゼーション（常態化）、インテグレーション（統合化）、パーティシペーション（主体的参加）という地域福祉の理念がNPOの存在意義と共通であることを指摘しました。そして、「自立と共生を基本とする人間らしい社会」を「市民やNPOの力」すなわち「新しい公共」の創出によって構築することがめざすべき今後の日本のあり方であるとしたうえで、「新しい公共」に関する民主党政権の取り組みの現状について報告しました。

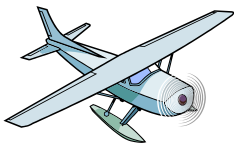
新装開店を記念し、会員以外の方も「参加無料」としたのが功を奏したというわけでもないのでしょうが、会場はなかなかの盛況でした。金子さんの論理的かつパワフルな語りに刺激され、いつになく熱気に満ちた研究会となりました。

◎新しい公共

人々の支え合いと活気ある社会をつくることに向けた自発的な協働の場

10月2日（土）第1回　のっぽ・アカデミー
福島市市民活動サポートセンター会議室
金子議員への質問等も活発になされ、盛況でした。

のっぽアカデミー（2010.11.4）
「公共施設は民間に任せたほうがいい？」



# 指定管理者制度をめぐって学習・討論

ふくしまNPOネットワークセンター理事　清水　修二

いま福島市内で一番元気なNPOといえば「ふくしま飛行協会」の名が挙がるでしょう。飯坂の農道空港（ふくしまスカイパーク）の指定管理者として立派な実績を積み上げています。指定管理者によって運営されている福島市の施設は 76 ありますが、NPO法人が管理者になっているのはわずかに2つです。スカイパークの存在意義と管理の実情に立ち入りながら、NPOが指定管理者になるための条件は何かということを考えるのが研究会の1つの目的でした。

NPOの強みは、数多くのボランティア＝無償労働に支えられて活動ができることです。公務員がやるとなれば膨大な人件費がかかる事業でも、NPOならそんなにお金をかけずにやれる。しかしそれは「コストがかからない」のではなく「コストが隠れている」だけなのだ、というのが第 1 のポイントです。

ではなぜそれが可能なのかといえば、そこには「自己実現」という報酬が用意されているからです。社会貢献のミッションという「公益」と、自己実現という「共益」が矛盾なくフィットしたとき、公共施設は民間活力で最も効率的に運営できるのではないかと思います。音楽堂でも芸術ホールでも事情は変わりません。

ただし、指定管理は行政の負担軽減のためにあるわけではないのであって、行政には行政の固有の役割があるというのが第2のポイントです。NPOは少なからぬ「隠れた経費」を負担しながら一所懸命に施設管理をする。行政は大所高所から施設の有効活用の施策を講じる。そうした両者の仕事が噛み合って初めて、指定管理者制度はプラスに機能するのではないでしょうか。

このような問題意識を研究会では共有できたと思います。スカイパークの事業は大きな成果を挙げていますが、市民の理解を得るためにやるべきことはまだまだたくさんあるという話も出ました。スカイパークが「福島市のオンリーワン」としてますます輝きを増していくために、NPOと行政の「協働」が一層すすむことを願っています。

---

## 第３回のっぽ・アカデミー

## 「時間寄付とＮＰＯ法人支援税制のあり方」のお知らせ

とき：2010年　12月21日（火）
　　午後18時30分～20時

場所：ウィズもとまち3階小会議室

講師：NPO 法人シャローム
　　副代表　大竹　隆　氏
※センター会員様は無料です。

リニューアルをして第3回目になる、のっぽ・アカデミー。

今回はNPO法人シャローム副代表の大竹隆氏を講師としてお招きし、有償ボランティアによる「時間寄付」について、社会経済合理性という観点から公益税制のあり方を考えます。

今年最後の、「のっぽ・アカデミー」となります。年末でお忙しい時期かと思いますが、皆様ぜひ、ご参加ください。

# ふくしま市民活動フェスティバルにご協力を

ふくしま NPO ネットワークセンター　副理事長　星野　珙二

このたび、ふくしま市民活動フェスティバル実行委員長を引き受けました。新装オープンのAOZ[アオウゼ]を会場に、12 月 18 日（土）、19 日（日）の 2 日間の開催へ向け、参加者が実行委員になる会が頻繁に開かれています。会を開催するにつれて参加団体数も多くなり、NPO・市民活動団体の熱気が感じられるようになってきています。

県北地方のNPO法人の数も 150 団体を超えており、市民活動フェスティバルも年を重ねるにつれて参加団体が増えてきています。それらの団体同士の相互交流が進み、連携が図られていく姿が見えてくるようになりました。他方で、市民との交流の接点を拡大することも課題になってきています。NPO・市民活動団体のさらなる交流と連携を促進し、市民活動への市民の関心を高めていくために、市民活動フェスティバルの果たす基盤的な役割は大きいと思います。また、県内においては、県北地方の市民活動フェスティバルが他の地方をリードするモデルとしてどのような効果を生み出すか、注目されています。

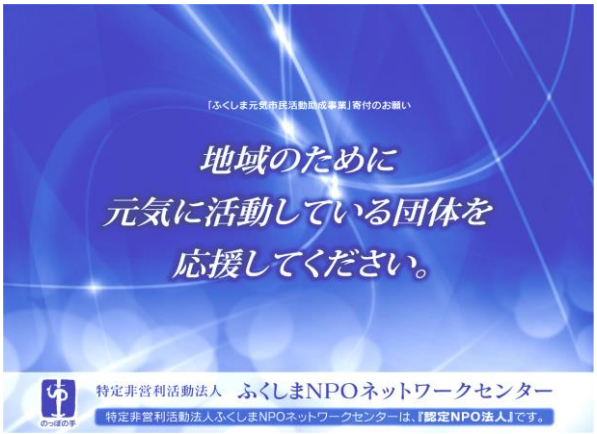
ふくしま NPO ネットワークセンターの設立理念に、NPO・市民活動団体の交流が掲げられています。中間支援組織の活動を展開する上では至極当然のことでありましょう。この当然のことが、軌道に乗るまでに、想い起こせば結構な紆余曲折を重ねて今日に至っています。斎藤實さんが情熱を注いだ「福島地域づくりの会」、佐藤和子さんが呼びかけた「どうすっぺ福島博」の源流を、県北ネットが市民活動フェスティバルが引き継ぎ、さらに清水修二さんが当センターを中心に実行委員会形式でバトンを引き継いできているわけですが、ようやく手応えが感じられてきたように思います。これを確かなものとするために、皆さんへさらなるご協力・ご支援をお願いするものです。

# 「ふくしま元気市民活動助成事業」寄付のお願い

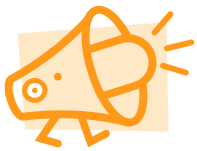
今年度のふくしま元気市民活動助成金の公開プレゼンテーションは 7 月に開催され、100名の市民審査員の投票によって5団体への助成が決定されました。

助成金の一部は市民の皆様の善意の寄付を活用しております。地域を元気にするために活動している団体を、皆様の善意で応援してください。

寄付は1円から受付けております。詳しくはふくしま NPO ネットワークセンター事務局までお問合せ願います。




〇寄付のお願いパンフレット



# 事務局が移転しました

11 月上旬、ネットワークセンター事務局が、佐平ビル地下1階より同ビル8階へ移転いたしました。

佐平ビル8階、エレベーターを降りてすぐ、スモールオフィス24の1室です。

入口ドアを開けると、左手にカウンターがあります。そこが、新しいネットワークセンター事務局となります。また、スモールオフィス 24 の管理室も兼ねております。

広く、明るくなりました。お近くへお越しの際は、ぜひお気軽にお立ち寄りください。なお、住所は8階に変更ですが、電話・ファックス・メールアドレスの変更はありません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

カウンター

事務局内

## 福島市市民活動サポートセンター講座
## 里山を舞台とした団体活動～協働の現状と理想～

日時：12月11日（土）13時30～15時30分

会場：福島市市民活動サポートセンター会議室

コーディネーター：清水　修二氏（福島大学副学長）

パネリスト：里山を舞台に活動している団体

※里山を背景に活動されている団体の交流を通して、現状と課題にせまります。詳しくは福島市市民活動サポートセンターまでお問合せください。

## 東北ろうきんパートナーシップ2010
## まだまだ募集中です！！

ボランティアに興味はあるけど、気軽に体験できるプログラムはないか・・・。このような声に応えて東北労働金庫と東北6県のNPO支援センターが連携した「NPOパートナーシップ2010」。ボランティア体験期間は12月24日までです。まだまだ募集中です。興味のある方はネットワークセンターまでお問合せください。

## 編集後記

仮住まいを経て、スモールオフィス24の一室の、新しい事務局へ引っ越すことが出来ました。荷造りした荷物や家具を見てはきちんと収まるのか、不備は無いかなど、心配でしたが、たくさんの方にお世話になり、どうにか無事引っ越せました。

## ◎福島市より受託して運営しています。


■福島市市民活動サポートセンター

960-8041　福島市大町 4-15　チェンバおおまち 3 階

TEL024-526-4533　FAX024-526-4560

■ふくしま情報ステーション

960-8053　福島市三河南町 1-20　コラッセふくしま 1 階

TEL024-525-4020　FAX024-525-4027



発行：ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8034 福島市置賜町 1-29　佐平ビル 8 階

TEL 024(528)1211　FAX 024(528)1218

E-mail center@f-npo.jpURL http://www.f-npo.jp/

電話・ファックス・Eメール・HPアドレスに変更はございません。